



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 トレンダーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6069 URL <http://www.trenders.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 伊久男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 郭 翔愛 TEL 03-5774-8876
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	1,560	25.5	115	57.9	115	54.9	62	93.5
26年3月期第3四半期	1,243	-	73	-	74	-	32	-

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 62百万円 (93.5%) 26年3月期第3四半期 32百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	17.46	16.76
26年3月期第3四半期	9.62	8.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	1,977	1,667	84.3	462.02
26年3月期	1,932	1,588	82.2	447.16

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,667百万円 26年3月期 1,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,160	17.4	216	35.8	216	35.6	110	28.6	30.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	3,609,600株	26年3月期	3,553,200株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	-株	26年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	3,584,147株	26年3月期3Q	3,360,903株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

インターネット関連業界において、平成26年9月末現在のスマートフォン普及率は、50.3%(株式会社MM総研調べ)となり、2014年9月に初めて過半数を突破し、スマートフォン市場の急成長が続いております。また、国内の動画広告市場は、2013年は132億円(株式会社シード・プランニング調べ)となり、前年から3倍以上の規模に急激に拡大しております。インターネット広告市場全体においても、平成25年の市場規模は前年比8.1%増の9,381億円(株式会社電通調べ)と順調に拡大しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、引き続き大手顧客企業を中心としてソーシャルメディア及びマスメディアを連動させたPRプランニングサービスの提供に加え、市場成長の著しいスマートフォンと動画の分野にて新しいマーケティングサービスに注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,560,819千円(前年同期比25.5%増)、営業利益は115,768千円(前年同期比57.9%増)、経常利益は115,016千円(前年同期比54.9%増)、四半期純利益は62,574千円(前年同期比93.5%増)となりました。

各セグメントの業績については、次の通りであります。

① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、スマートフォンおよび動画関連サービスが堅調で、全体的に想定通り推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,400,388千円(前年同期比16.4%増)、セグメント利益(営業利益)は375,812千円(前年同期比26.1%増)となりました。

② H&BC事業(ヘルス&ビューティケア事業)

当セグメントにおきましては、大手流通との取引が堅調に推移いたしました。返品調整引当金の見積額を超える返品を受けた影響により、当第3四半期連結累計期間の売上高は161,510千円、セグメント損失(営業損失)は14,200千円となりました。

前第3四半期連結会計期間より、新たに当社グループの事業となったため、前年同四半期比は記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,977,861千円(前連結会計年度比45,246千円の増加)となりました。これは主に、増加した現金預金により投資有価証券を取得し、投資その他の資産が増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は310,158千円(前連結会計年度比33,625千円の減少)となりました。これは主に、借入金の返済に伴い長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,667,703千円(前連結会計年度比78,872千円の増加)となりました。これは主に、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました内容から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,269,358	1,149,664
受取手形及び売掛金	433,795	316,343
商品及び製品	24,707	37,144
繰延税金資産	14,116	23,179
その他	48,354	22,760
貸倒引当金	△1,109	△4,432
流動資産合計	1,789,222	1,544,661
固定資産		
有形固定資産	22,707	20,985
無形固定資産	63,687	57,163
投資その他の資産		
投資有価証券	-	300,000
その他	56,998	55,050
投資その他の資産合計	56,998	355,050
固定資産合計	143,392	433,200
資産合計	1,932,615	1,977,861
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	146,367	100,901
1年内返済予定の長期借入金	12,180	-
未払法人税等	8,032	25,831
ポイント引当金	28,928	28,400
返品調整引当金	11,503	9,033
その他	81,760	129,765
流動負債合計	288,772	293,933
固定負債		
長期借入金	39,010	-
資産除去債務	16,001	16,225
固定負債合計	55,011	16,225
負債合計	343,783	310,158
純資産の部		
株主資本		
資本金	532,519	539,917
新株式申込証拠金	-	1,503
資本剰余金	511,519	518,917
利益剰余金	544,791	607,366
株主資本合計	1,588,831	1,667,703
純資産合計	1,588,831	1,667,703
負債純資産合計	1,932,615	1,977,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	1,243,666	1,560,819
売上原価	696,466	840,471
売上総利益	547,199	720,347
返品調整引当金繰入額	-	9,490
差引売上総利益	547,199	710,857
販売費及び一般管理費	473,895	595,088
営業利益	73,303	115,768
営業外収益		
貸倒引当金戻入益	960	-
法人税等還付加算金	-	304
その他	550	244
営業外収益合計	1,510	548
営業外費用		
支払利息	563	1,213
その他	-	88
営業外費用合計	563	1,301
経常利益	74,250	115,016
特別利益		
負ののれん発生益	764	-
特別利益合計	764	-
特別損失		
固定資産除却損	-	2,760
リース解約損	-	1,008
減損損失	16,554	8,118
特別損失合計	16,554	11,887
税金等調整前四半期純利益	58,460	103,129
法人税、住民税及び事業税	26,475	48,587
法人税等調整額	△347	△8,033
法人税等合計	26,127	40,554
少数株主損益調整前四半期純利益	32,333	62,574
四半期純利益	32,333	62,574

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	32,333	62,574
四半期包括利益	32,333	62,574
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,333	62,574

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ソーシャルメディアマーケティング事業	メディア事業	H&BC事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,203,391	40,274	-	1,243,666	-	1,243,666
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	1,203,391	40,274	-	1,243,666	-	1,243,666
セグメント利益又は損失(△)	297,975	△15,832	-	282,143	△208,839	73,303

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,839千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年11月1日に、株式会社H&BCの全株式を取得し、子会社化いたしました。これに伴い、当第3四半期連結累計期間より、報告セグメントを従来の2事業から「H&BC事業」を追加し3事業としております。なお、株式会社H&BCの決算日である平成25年11月30日をみなし取得日とし、第3四半期連結決算日との差異は3ヶ月を超えないため、当第3四半期連結累計期間は、貸借対照表のみを連結としております。

そのため、株式会社H&BCの業績を四半期連結損益計算書に含めていないため、「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」において報告セグメントの「H&BC事業」の金額は記載しておりません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

メディア事業セグメントにおいて、平成25年12月24日開催の取締役会において「キレナビ」事業の譲渡を決定したことに伴い、固定資産を回収可能価額まで減額し、減損損失として計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては16,554千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

H&BC事業セグメントにおいて、株式会社H&BCを平成25年11月1日付で子会社化いたしました。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、764千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	ソーシャルメディアマーケティング事業	H&BC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,399,857	160,962	1,560,819	-	1,560,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	531	548	1,080	△1,080	-
計	1,400,388	161,510	1,561,899	△1,080	1,560,819
セグメント利益又は損失(△)	375,812	△14,200	361,612	△245,843	115,768

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△245,843千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 平成26年1月31日付でメディア事業(「キレナビ」の運営事業)の譲渡をしたため、当第3四半期連結累計期間において、「メディア事業」はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

ソーシャルメディアマーケティング事業において、当社サービスであるAmazeは、平成26年8月末日をもってwomediaにサービス統合いたしました。これに伴い、統合後使用見込みのないソフトウェアの減損損失を計上しております。

当該特別損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては8,118千円であります。